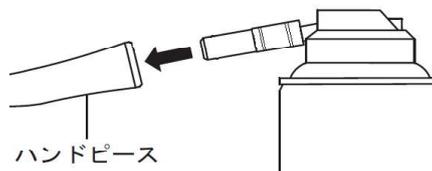


## 【注油】

### ■ハンドピース用スプレーによる注油

各患者の治療後、またはオートクレーブ滅菌前に以下の通り注油を行ってください。

- 1) ハンドピース用スプレーのノズル部にモータージョイント用ノズルを強く挿し込みます。モータージョイント用ノズルをハンドピース後部へ挿し込み、ハンドピースを押さえて、ハンドピース先端よりオイルが出るまで2~3秒スプレーします。注油は先端から異物等の汚れが出なくなるまで繰り返し行います。



- ・ハンドピース用スプレーを逆さにして使用しないでください。
- ・ハンドピースをしっかり押さえてください。スプレーの圧力によってハンドピースが飛び出す恐れがあります。
- ・スプレーはハンドピース先端よりオイルが出るまで行ってください。
- ・ハンドピース内の余分なオイルを排出するため、  
A61シリーズ、A65シリーズの場合はダミーバーを抜いた状態で、  
A11ストレートハンドピースをお使いの方は、ダミーバーを差し込んで回転させてください。
- ・オイル飛散を防ぐため、ヘッドに布等をあてがう場合は、プッシュボタンを押さないように注意してください。バーが取り付けられなくなるなどの故障の恐れがあります。

### ■ヘッド内の清掃

週に一度ヘッド内を清掃してください。

ハンドピース用スプレーのノズル部にヘッドノズルを取り付け、プッシュボタンを軽く押しながらバーの取り付け穴へ直接スプレー注油を行い、仕上げにハンドピース用スプレーまたは自動注油システムによる注油を行います。



#### 注意

- ・チャックの清掃を怠りますとチャック内にゴミがたまり、バーが抜ける恐れがあります。

## 【滅菌】

### ■本製品はオートクレーブ滅菌にて滅菌してください。

患者の治療終了毎に、以下の通り滅菌を行ってください。

- 1) 滅菌パックに入れ、封緘します。
- 2) オートクレーブ滅菌を行います。以下の条件でオートクレーブ滅菌が可能です。  
**135°C以下(乾燥工程不可)**
- 3) 使用するまで滅菌パックに入れたまま、清潔な状態を保てる場所に保管します。



#### 注意

- ・ハンドピース内部に血液などの汚れが残ったままオートクレーブ滅菌すると、固着して故障のもとになります。オートクレーブ滅菌前は、必ず十分な洗浄、注油を行ってください。
- ・薬液の付着した器具と一緒にオートクレーブ滅菌すると、表面が変色したり、内部部品に影響を与えます。オートクレーブ滅菌器の中には薬液が入らないように注意してください。
- ・急加熱、急冷却するようなオートクレーブ滅菌は行わないでください。温度の急激な変化により部品が劣化します。
- ・135°Cをこえる滅菌器を使用しないでください。故障の原因になります。詳しくは滅菌器の製造販売業者に確認してください。
- ・保管の際は気圧、温度、湿度、風通し、日光、埃、塩分、硫黄分を含んだ空気などにより悪影響が生じる恐れのない場所に保管してください。
- ・滅菌直後は高温となっていますので触れないように注意してください。
- ・本製品ではオートクレーブ滅菌以外の滅菌方法の効果は確認していません。